

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス夢未来		
○保護者評価実施期間	2025年11月12日		～ 2025年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年11月12日		～ 2025年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフの多くは保育園・幼稚園・学校で長年勤務していたため豊富な知識と経験がある。そのため各利用者に対してきめ細やかな支援ができています。保護者からの相談に対してもスタッフで共通理解して適切なアドバイスができています。保護者との信頼関係ができています。	スタッフが今までに積み重ねてきた知識や経験により、利用者や保護者に対してよりよい支援のあり方を話し合うことができています。利用者や保護者に寄り添った支援に取り組むことができています。	職員の多くが教育現場で長年勤務してきているが、他業種で勤務していたスタッフも新しく加わったことで建設的な話し合いができる。そのことでよりよい解決策やアイデアが生まれることで支援に繋げていけると考える。
2	令和7年4月から新築の鉄筋2階建ての施設に移転した。1階が利用者が来所後に利用するスペースになり、2階は運動等ができる広い多目的室があるために体を使う運動等ができています。また、夢未来ファーム（農園）まで徒歩で1分程で行けるため、作物の生産から調理までの栽培・収穫と食育の経験を体験できる。	2階建ての施設で一人当たりの利用スペースが広くなった関係で、季節の行事を実施する場合に色々な取り組みを企画することができています。夢未来ファームでの活動では、作物の播種から定植する経験をする中で愛着を持って作物を育てることができていた。	新施設での利用が1年目であるために季節の行事や夢未来ファームの播種から栽培・収穫・調理までの取り組みについて検証してより一層充実した体験活動を目指す。
3	スタッフ間の人間関係が良いために連携ができています。	スタッフ間のコミュニケーションを大切にして、お互いが助け合いながら勤務をしている。	スタッフの一人ひとりがストレスを溜めないように気分転換を図りながら健康的に勤務できるようにすること。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの専門的スタッフがいないこと。	専門的スタッフが配置できることで利用者の一人ひとりに必要な支援と保護者の要望にも応えることができる。	専門的スタッフとして作業療法士や言語聴覚士といった人材を確保して、より充実した事業所にすることが望まれる。そのために人材確保をする必要がある。
2	職員の資質能力を高める研修参加への時間が限られているため参加できないことがある。	研修会への参加は主に午前中に実施される研修会にしか参加できない。参加した職員は午後2時までに事業所に帰ってくるようにしている。研修会に参加して職員の資質向上を図ることが重要である。現在、パート職員の配置は増えているが神戸方面等の研修会に参加できる配置にはまだなっていない。	職員の資質能力を高めるために、一日中の研修会に参加できるようにパート業務職員の確保を目指すこと。療育について午前中の利用者がない時間帯でミニ研修を定期的実施することで少しでも資質能力を高め、動向について共通理解を深める。
3	令和7年9月より土曜日の営業を中止した。	土曜日に勤務できるスタッフが不足しているため開業できない状況である。	ただ人材を増やせばよいということではなく、豊富な知識や経験があるスタッフの確保により利用者や保護者からの信頼を継続させられる状況ができれば土曜日の営業を再開したい。